

防災イベントにブース出展

吉備総合電設

Top ics

日本海テレビ主催の防災イベント「アクション！みんなの防災シン・防災DAY」が22日、とりぎん文化会館と旧鳥取市役所跡地であり、「鳥取県で防災といえば」でおなじみの吉備総合電設（山下善議社長）もブースを出展＝写真。火災臨場体験VRで火災や地震の恐怖、避難の仕方などを来場者が体験した。

火災臨場体験VRは、能美防災（東京都）とグランゼーラ（石川県）が共同制作したコンテンツで、オフィスビルで火災や大地震に遭遇した設定で5つの場面を体験することができる。

記者もイベントに来場者として行き、実際に体験してみた。体験したのは「廊下に充満した



煙」という場面で、会議室から黒煙が充満している廊下を通り、非常階段を目指すもの。会議室の扉を開くと黒煙が部屋に流れ込んで恐怖感が増した。一刻も早く逃げようと、身を低くして地べたを這うようにしながら非常階段のある方向へ移動し、無事避難することができた。

山下社長は「今後も住民の防災意識を向上できるような活動に取り組んでいきたい」と話していた。

シン・防災DAYはほかにも体験型のブースが多数出展。多くの家族連れなどでにぎわっていた。

（串）
はやぶさ